

SPAC 秋→春のシーズン 2021-2022 #1

みつばち共和国

La République des Abeilles 国際共同制作 2020年初演

メーテルリンク作『蜜蜂の生活』に基づく

作・演出：セリーヌ・シェフェール

日本語台本：能祖將夫

出演：たきいみき、永井健二、仲村悠希 [五十音順]

声の出演：木内琴子

日時

<静岡公演> 2021年 **10月2日(土)、3日(日)、9日(土)**
10日(日)、23日(土)、24日(日)

<下田公演> 2021年 **11月27日(土)**

各日 **14:00**開演 (上演時間：約60分)

会場

<静岡公演> **静岡芸術劇場** (グランシップ内)

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

<下田公演> **下田市民文化会館【下田市制50周年記念】**

〒415-0024 下田市4丁目1-2

電車：「伊豆急下田駅」から徒歩7分

チケット

一般：4,200円 / ペア割引：3,700円 (2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引：3,500円 [満60歳以上の方]

学生割引：[大学生・専門学校生] 2,000円 / [高校生以下] 1,000円

ファミリー割引 高校生以下を同伴の大人1名につき3,300円

※電話・窓口にてお取り扱い

◎推奨年齢：7歳～ ◎未就学児入場不可。

◎下田公演の公演チケットは下田市民文化会館チケットセンターでも販売しております (一部の券種をのぞく)。



▲ 2020年公演より

主催・製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター
共同製作：カンパニー・ル・メロドローム (Le mélodrome)
[静岡公演]

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

[下田公演]

主催：公益社団法人全国公立文化施設協会

共催：公益財団法人下田市振興公社

助成：文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

■みつばちたちの神秘的な物語が早くも再演。 劇場がみつばちの巣箱に大変身！

2020年に舞台芸術公園 屋内ホール「楯円堂」で日本語版を創作・上演し、好評いただいた『みつばち共和国』が、今シーズンの開幕作として静岡芸術劇場に登場します。11月には、下田市民文化会館にて、下田市制50周年を記念しての公演も予定しています。

原作は、作家メーテルリンクをノーベル文学賞受賞に導いた代表作でもあるエッセイ『蜜蜂の生活』。詩情あふれるみつばちの生態描写の煌きはそのままに、フランス人演出家セリーヌ・シェフェールはこれを詩的な言葉とダンス、そして映像で鮮やかに描きだしています。また、演出家が実際の巣箱で採音した羽音が使用されるなど、何万匹ものみつばちが巣の中で一つの生命体のように連動する、壮大で神秘的な世界が劇場に立ち上がります。

大人も子ども親しみやすいおとぎ話のようでありながら、生態系の形成と維持に大きな役割を果たす“花粉の運び屋”みつばちの存在が、今日、人間の手によって脅かされている現実にも触れており、人間社会の在り方にも多くの示唆を与える作品です。

■ウィズコロナ時代の国際共同制作。ノウハウの蓄積で深化するクリエイション。

SPACでは、独自の厳しい感染防止対策を講じながらも国際共同制作を継続し、且つ、演劇作品としての芸術性や面白さとの両立をはかってきました。

昨年度は演出家セリーヌ・シェフェールの来日が叶わず、フランスと日本を会議アプリZoomでつないでの作品創作となりましたが、今年は彼女と舞台美術家エリ・バルテスの来日が実現しました。二人は2週間の自主隔離中はリモートで稽古に参加し、9月20日から劇場での稽古に合流しました。その結果、表現の選択肢に幅が生まれ、2019年初演のフランス版に限りなく近い演出が実現しました。

演出家と俳優・スタッフが、一年越しに対面で空間を共有し、細やかな演出で磨き上げられた新生『みつばち共和国』にご期待ください。

また、このたび長期に及んだ静岡芸術劇場の特定天井対策工事が完了し、感染症だけでなく災害にも備え、より皆様に安心して観劇いただける環境が整いました。

新型コロナウイルス感染症対策

ご来場のお客様へご協力のお願い

- ご来場前の体調チェック、またご来場の際にはマスク着用をお願いいたしております。
- 会場入口にて、サーモグラフィ/非接触型体温計にて検温を行い、37.5度以上の場合をご入場をお断りいたします。

★詳細は公式サイトをご覧ください。▶



『みつばち共和国』へのお問い合わせ・取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター広報担当：戸塚、坂本」までお願いいたします。

TEL：054-203-5730 (静岡芸術劇場) / FAX：054-203-5732 / E-mail：totsuka@spac.or.jp、sakamoto@spac.or.jp

プロフィール

セリーヌ・シェフェール Céline Schaeffer



演出家、ビジュアル・アーティスト。フランス生まれ。造形美術を学んだのち、1995年より演出助手として舞台芸術分野で活動を始め、1999年からは現代フランスを代表する劇作家ヴァレール・ノヴァリナのコレクターを務める。2019年にはカンパニー・ル・メロドローム (Le mélodrome) を設立し、フランス・アヴィニョン演劇祭で本作を創作・初演し、反響を呼んだ。演劇・言語・美術を横断する創作スタイルで注目を集めている。

関連企画 (静岡公演)

<プレトーク>

一般公演日の開演 25 分前より 2F カフェ・シンデレラで、舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

<アーティストトーク>

終演後にトークを開催いたします。

10月2日(土)

登壇者：セリーヌ・シェフェール (演出)
エリ・バルテス (舞台美術・映像)
木内琴子、たきいみき、永井健二、仲村悠希
(以上4名、出演俳優)

ファシリテーター：大岡淳 (SPAC 文芸部)

通訳：平野暁人

10月23日(土)

ゲスト：大塚茂夫 (ナショナルジオグラフィック日本版編集長)
1969年、静岡県生まれ。筑波大学で文化の多様さと奥深さを学ぶ。大学卒業後、NHKで報道番組ディレクター、アリタリア航空で貨物営業を経験し、2004年2月からナショナル ジオグラフィック日本版の編集に携わる。2011年1月、同誌編集長に就任。

*ナショナルジオグラフィック日本版サイト
<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/>

登壇者：たきいみき (出演俳優)

司会：宮城聡 (SPAC 芸術総監督)

<バックステージレクチャー>

SPAC 創作・技術部スタッフが舞台裏を解説します。

静岡公演：10月3日(日)、9日(土)、24日(日)

下田公演：11月27日(土)

各日終演後 所要時間：約30分
参加無料/予約不要

特別企画1

サイエンストーク

「ハチの世界と社会性昆虫」

— 講師 —

岸本年郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授)

10月10日(日)終演後

所要時間：約30分
[参加無料/予約不要]

*ふじのくに地球環境史ミュージアム
<https://www.fujimu100.jp/>

特別企画2

ふじのくに地球環境史ミュージアム Presents

標本展示「ハチの世界」

劇場ロビーに博物館がやってくる！
ミュージアム研究員がセレクトしたハチの標本を、
公演期間中に展示いたします。

展示期間

10月 ~~1日(金)~~ 2日(土)~27日(水)

10:00~18:00

*休業日 10/16(土)を除く
*チラシ記載の期間から変更になりました。

会場：静岡芸術劇場 1F ロビー
<見学無料>

中高生鑑賞事業「SPACeSHIP げきとも！」



SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、静岡県内の中学生・高校生を対象に招待公演を行っています。本作では県内29校、約3,000名の中高生が静岡芸術劇場および浜松市天竜壬生ホール、下田市民文化会館での鑑賞を予定しています。

※一般のお客様は観劇をご遠慮いただいております。

●静岡芸術劇場

10月1日(金) 18:00 開演、5日(火) 13:30 開演、
8日(金) 14:30 開演、12日(火) 14:00 開演、
15日(金) 13:30 開演、22日(金) 13:30 開演、
27日(水) 13:30 開演/18:00 開演

●浜松市天竜壬生ホール

11月18日(木) 13:30 開演、
19日(金) 10:30 開演/14:30 開演

●下田市民文化会館

11月25日(木) 13:30 開演、26日(金) 13:30 開演

<計13公演>